

王総としよだより

王子総合高等学校 図書館案内 Vol.73

場 所 : メディア棟 2階
蔵書冊数 : 23,690冊
新 聞 : 8紙
雑 誌 : 17誌

王総図書館を活用しましょう

新入学・進級、おめでとうございます。

一年間、王総図書館をよろしくお願ひします。

ところで、みなさんと学校図書館との関わりはどのようなものでしょうか？小学校低学年では週一回、先生に引率されて図書館に行き、読み聞かせなどを楽しんだ経験があると思います。しかし中学年頃から徐々に本を読まなくなり、中学校では「学校の図書館？行ったことないよ」という方が多いかもしれません。

実は、学校図書館は学習や授業に資する本が数多く所蔵されており、たいへん役に立つ所です。また、人気作家の新刊本など、公立図書館であれば数年待ちの作品も王子総合図書館であれば速やかに手に取ることが可能です。このように、**為になる・お得で・楽しい**場所を利用しない手はありません。

王総図書館、23,000冊の本たちは皆さんとの出会いを待っています。マンガもあります！

図書紹介、小説を2点

『コメンテーター』

奥田 英朗【著】 文藝春秋 分類 913.6

とっても笑えるコメディです。ここには5つの短編が収録されています。どの作品にも登場する主要人物が資産家の御曹司でもある精神科医の伊良部一郎。この伊良部先生、荒唐無稽な常識を超える言動で患者さんのみならず周囲をも翻弄します。しかし何故か、心を病んでいたはずの彼・彼女たちは、気が付くと気持ち楽になっていたたり、「俺はつまらないことで悩んでいたのかもしれないな」などと、我に返ったりしています。ドクター伊良部の自由すぎる発言と行動は、私たち読者にも参考になりそうです。

『ほどなく、お別れです』

長月 天音【著】 小学館 分類 913.6

就活生の美空は、予期せず葬祭プランナー漆原と出会い、葬儀会社でインターン生として仕事を始めます。教育係漆原の厳しい指導に挫折しそうになる美空。しかし、遺族や故人にとことん寄り添う漆原の姿に、いつしか憧れを抱くようになります。遺族のみならず故人も納得できる葬儀とは？

ついに美空は漆原の背中を追うように、自身も葬祭プランナーを目指すことを決意します。

“ほどなく、お別れです”に込められた真の意味とは…。今年2月に映画公開もされた作品です。



今月の小特集

「教訓、ことわざ、心理の本」

4月から年度が改まり、進学や進級で環境が変わりますね。

このような節目には、初めて経験することや慣れないことに直面し、時には不安になることもあつたりします。そんな時に、教訓やことわざに関する本を手にとってみてはどうでしょうか。物事に向かう際の心構えや、対人関係のヒント、落ち込んだ時の立ち直り方、心理学を応用した日常生活における実践の提案など、参考になる考え方も見つかるかもしれません。簡易な心理テスト本もあります。